



1月28日(土)、ウラホロマッチ(うらほろ婚活応援委員会主催)が開催され、町内の喫茶店を巡りランチやカフェで交流しました。  
 この日は町内外から男女19人が参加。かし和家で開会式とランチをし、男女3グループずつに分かれカナリアやハハホステルなどをはじめしながらカフェで交流しました。  
 各グループと会場には町民有志のコンシェルジュを配置。交流しやすい雰囲気を作るためゲームなどを企画し、場を和ませていました。  
 参加した男女からは「カフェで交流という形が参加しやすかった」「もう少し時間が欲しかった」「次も参加したい」などの感想が寄せられました。

# ウラホロマッチ



2月5日(日)、うらほろフォーラム2023(うらほろフォーラム2023 3実行委員会主催)が浦幌町中央公民館で開催され、約160人が参加しました。  
 対面式での会場開催は3年ぶり。第1部の活動発表では、町域おこし協力隊の上野結子さんと浦幌部の中高生がこれまでの活動を発表し、若者リレートークでは浦幌出身で浦幌に就職した若者と教育大学生によるフリップを使ったトークが行われました。  
 第2部のパネルディスカッションでは、高校生や校長先生、教育委員会など5人のパネラーとこれからの「うらほろスタイル」について意見交換しました。



# うらほろフォーラム2023



## ファミリーday 親子で楽しく音楽遊び

1月14日(土)、町子育て支援センター主催のファミリーdayが町認定こども園で開催され、17人の親子が参加しました。

この日は、おはなしぴあの会(西田祐子代表)による音楽遊び。音楽に合わせて体を動かし、親子でのふれあい遊びやバルーンをふわふわして遊びました。また豆まきに見立てた鈴入りボールを転がして楽しむなど、和やかな雰囲気の中で参加した子ども達からは笑顔があふれていました。



## 浦幌小学校 精一杯の滑りを披露

1月30日～2月1日の3日間、浦幌小学校でスケート記録会が開催されました。

今年は雪の影響で1月中旬まで滑れない期間がありましたが、児童たちは記録会までの短い時間、一生懸命練習に励んでいました。

記録会では、リンクを作ってくれた保護者に感謝しながら、児童たちは精一杯の滑りを披露しました。



## 浦幌中学校スケート部松田皓太さん 全国大会で自己ベストを

1月23日(月)、浦幌中学校スケート部の松田皓太さん(浦幌中2年)が水野教育長を訪問し、2月4日から長野県で開催される第43回全国中学校スケート大会への出場を報告しました。

松田さんは500mで自己ベストを記録し、全国大会出場条件となる24位以内に入り、見事に全国大会への出場権を獲得。全国大会では500mと1000mの2種目に出場します。

全国大会に出場する松田さんは「練習の成果を出して楽しく滑り、自己ベストを更新したい」と意気込みを語り、水野教育長からは「全国大会を楽しんで、後輩に繋げてください」と激励が送られました。

また全道大会に出場した大山幹太郎さん(同1年)、高田実夢さん(同1年)も健闘を報告しました。



## 上浦幌公民館 芸能発表をユーチューブ配信

2月4日(土)に、第46回上浦幌公民館まつり(公民館まつり実行委員会主催)が3年ぶりに開催され、64の方が来場されました。

この日は、1階ホールでハマナス商店会による出張販売や幼児・児童生徒の作品や写真、絵画、手芸作品などの作品展示が行われました。また芸能発表では事前に撮影した保育所や小中学校、開拓太鼓、寿大学の活動を上映。当日はユーチューブ配信も行い120回の視聴がありました。



子育て支援センター  
**栄** 養士から食事のポイント学ぶ

2月8日(水)、町子育て支援センター主催の子育て講話が町認定こども園で開催され、11人の親子が参加しました。

この日は、町認定こども園の野田栄養士を講師に第1部と第2部の2部制で実施。講話では、離乳期に食べることが好きになる方法や幼児期の食事で大切なことなど食事のポイントを学びました。

参加した保護者からは、「おやつのことなど、改めてきちんとしなければと思った」「野菜の食べさせ方などもう少し工夫してみようと思った」などの感想が述べられました。



町内在住の益子スミヨさん  
**百** 歳の長寿にお祝い

2月9日(木)、町内在住(宝町)の益子スミヨさんに百歳の長寿を記念し、敬老祝金が贈呈されました。

益子さんは、大正12年生まれで、令和5年2月をもって百歳を迎えられました。

この日は、町長が自宅を訪問。本人は介護施設に入所中という事で、ご家族に対しお祝いの言葉を添えて、敬老祝金を手渡しました。



防災訓練  
**緊** 急速報メールで約80人が避難

2月11日(土)、市街地区と中浦幌地区を対象に浦幌川の氾濫の恐れを想定した防災訓練が実施され、約80人が参加しました。

この日は、午前9時30分に緊急速報メールを配信し、中央公民館への避難を開始。徒歩や車で避難してくる姿が見られました。

避難場所の中央公民館では、帯広測候所やNHK帯広放送局、陸上自衛隊などが防災用ブースを設置しPRしました。

防災講話では一般社団法人ピースボート災害支援センターの井上綾乃さんを講師に「被災地から学ぶ 中長期の避難所運営」と題して、近年の災害における課題や中長期の避難所を想像したときの課題、今日からできる災害への備えなどのお話を聞かせていただきました。

